

競技注意事項（西播地区）

1 この大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定を適用する。

2 招集について

ア 選手招集所は、第二ゲートに設ける。（雨天時は第一ゲートに変更することがある。）

	トラック競技	フィールド競技
開始時刻	30分前	40分前
完了時刻	20分前	30分前

イ 招集は、完了時刻10分前に競技者係が点呼を開始しチェックをする。このとき点呼に応じない者は、棄権とみなされる。

ウ 代理人による招集は認められない。但し多種目を同時に兼ねて出場する者は、あらかじめ競技者係に多種目同時出場届を提出し事前の点検をうけておくこと。

エ 腰ナンバーカードは、各学校で用意をすること。なお男子1500m、5000m、3000mSC、5000m競歩、女子1500m、3000m、5000m競歩は、招集時、競技者係から配られる。

オ 混成競技において、第1日目第一種目、第2日目第一種目と最終種目は招集所で点呼を受ける。ただし他の種目は現地集合とし、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。

3 トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

4 リレー予選のオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに記録室番組編成員へ提出すること。決勝のオーダー用紙も変更の有無にかかわらず招集完了時刻の1時間前までに記録室へ記入に来ること。

（オーダー用紙は、学校受付時に配付する）

5 5000m、3000mSC、5000mW、女子3000m、5000mWで先頭に一周抜かれた場合はレースを中止させることがある。

6 スタートはイングリッシュコマンドで実施、不正スタートは一発失格（混成競技は二回目誰でも失格）とする。

7 やりは、検査をうけて自己のものを使用すること。

検査場所・・・ 玄関ロビー

検査時間・・・ 男子：第1日13時30分 女子：第2日13時15分 混成男女：第2日11時00分

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

男子 走高跳 1m55(練習) 60-65-70-75-80-83-86-89-92-95-98

棒高跳 —— 2m60(練習) 2m80-3m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90-4m00

八種走高跳 1m55(練習) 60-63-66-69-72-75-78-81-84-87-90

女子 走高跳 1m20(練習) 25-30-35-40-45-50-53-56-59-62-65-68

七種走高跳 1m15(練習) 20-23-26-29-32-35-38-41-44-47-50-53

第1位が同成績および男子7位・女子6位が同成績の場合、順位決定のための追加試技をおこなう。競技終了時の高さからスタートし、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとする。

走高跳でバーを破損した場合は、弁償すること。

9 高体連の申合せにより、役員の協力がない学校の選手は出場させない。

10 トラック競技で同記録の場合、準決勝・決勝への進出者は抽選により決定する。走高跳・棒高跳を除く種目の決勝で男子7位・女子6位で同順位の場合、県大会出場資格は抽選により決定する。

11 本大会の成績により、男子各種目7位まで、女子各種目6位まで、棒高跳は3m00以上、三段跳は11m50、ハンマー投は43m00以上、競歩・混成競技は上位2名が県大会への出場資格を得る。（リレーは自由参加とする）

なお+α（男子8名、女子7名、混成競技7名）は5月10日（火）の常任委員会で決定し、後日連絡する。

12 特別枠により県大会出場資格を有する選手が該当競技に出場した場合は、資格を放棄したものと見なす。

13 競技場の開門は、両日とも7時30分に行く。

14 競技終了後の清掃は、大会両日とも西播地区各校2名が本部前に集合すること。ゴミは各校責任を持って持ち帰ること。

15 整備用具係付きの補助員は、開門と同時に北器具庫前に集合すること。

16 競技場内でのウォーミングアップは両日とも8時45分まで認める。

17 3000mSCは一日目に予選、二日目に決勝をおこなう。

18 トラック外側の第2コーナーから第3コーナーまでの地域は競技に支障のない範囲でウォーミングアップ場として使用してよい。（アナウンスにて指示あり 棒高跳競技中および投てき練習は禁止）